



年頭のごあいさつ

日本アイ・ビー・エム健康保険組合

被保険者ならびにご家族のみなさまにおかれましては、日頃より当健保組合の事業運営につきまして多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。



2022年から団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となり始め、今年はすべての団塊の世代が75歳以上となる「2025年問題」に直面します。今後もペースは緩やかになるものの後期高齢者の増加は続き、将来4人に1人が後期高齢者になると推計されています。また、急速な少子高齢化がさまざまな分野に影響を与え、特に医療保険や介護保険、年金など社会保障制度への影響が懸念されるなか、国では持続可能な社会保障制度の構築に向け、能力に応じて全世代が支え合う「全世代型社会保障」の構築をめざし検討を進めていますが、依然として健保財政は厳しい状況にあり、「国民皆保険制度」を次世代に残していくためにも、抜本的な制度改革が不可欠です。

健保組合では昨年4月から第3期データヘルス計画がスタートしており、これまでに蓄積したデータを活用した各種事業を進めています。これら事業の取組状況によって後期高齢者支援金が加算・減算される仕組みがありますが、2025年度からはより加入者の状況に合わせた事業が評価される仕組みに見直されます。当健保組合ではこうしたさまざまな変化に対応しながら、みなさまの健康寿命の延伸をめざし、時代に即した事業を展開してまいります。みなさまにおかれましては、当健保組合が実施する各種保健事業を積極的にご活用いただき、日々の健康づくりにご留意され、ジェネリック医薬品、リフィル処方箋のご利用など医療費節減にご協力をいただきますようお願い申し上げます。

結びに、本年がみなさまにとって実り多き一年となりますことをお祈り申し上げ、年頭のごあいさつとさせていただきます。

